

美里町総合計画審議会 教育文化部会
部会審議報告書

開催日時	第1回部会:令和2年7月 9日(木)午後3時23分から 第2回部会:令和2年7月22日(水)午後1時33分から 第3回部会:令和2年8月 5日(水)午後1時30分から 第4回部会:令和2年8月19日(水)午後1時30分から
開催場所	第1～3回:美里町中央コミュニティセンター2階 第3研修室 第4回:美里町本庁舎3階 ミーティング室(オンライン会議)
審議会委員	武田 高誠(部会長)、庄司 美知留(部会長代理)、西浦 和樹、 中村 啓昭
職員 (美里町総合計画等 策定委員会委員)	教育次長兼教育総務課長 佐藤 功太郎、 まちづくり推進課長 齋藤 寿
章・政策・施策	(審議結果)
第1章 政策1 施策1	(主な意見等) ・学力向上について、学校側の努力だけではなく、家庭(保護者や子供)の意識も改善していくことが必要である。 ・一方で、学力向上だけが教育ではなく、施策の目的にあるとおり、夢と志を持てる、個々の能力を引き伸ばせる学校教育というのも大切である。 ・また、子供達が失敗しても、次、またその次とチャンスを与えられるような、心の教育に繋がる教育も必要ではないか。
施策2	(主な意見等) ・英語教育について、姉妹都市(ウイノナ)との交流もあるが、一時だけでなく、子供達が継続して、世界観や世界情勢なども感じながら、成長していけるようにしていくことも大切である。
施策3	(主な意見等) ・図書館運営について、利用者が減少傾向にある中で、学年や年齢で本を探せるようなレイアウトの改善、本のトレンド調査など必要ではないか。また、漫画本を設置するなど、図書館を身近な場所としたり、本のコンシェルジュのようなスタッフがいても良いのではないか。 ・図書館にカフェを併設するなど、図書館の利用目的を増やすような視点も必要ではないか。 (他の部会からの意見シートに対して) ・施策の展開における生涯学習について、別紙のとおり修正する。
政策2 施策4	(主な意見等) ・食事は子供が成長する上で非常に重要であり、学校給食において、地元産食材の使用を数値目標として取り入れていっても良いのではないか。

施策5	(主な意見等) ・ICT 教育の推進とあるが、成長期の子供達に対する環境の変化による影響は非常に大きいため、ICT 教育についても、メリット、デメリットを十分に考慮したうえで推進していく必要がある。 ・教職員の負担軽減とあるが、より有効な方法で、周りでサポート体制を取りながら、積極的に取り組んでいっていただきたい。 ・新中学校の整備について、発達障害の子供に対する、五感に不快感を与えないような設計にするなど配慮した方がよい。
------------	---

美里町総合計画審議会 保健医療福祉部会
部会審議報告書

開催日時	第1回部会:令和2年7月 9日(木)午後3時5分から 第2回部会:令和2年7月20日(月)午前8時55分から 第3回部会:令和2年8月 3日(月)午前9時00分から
開催場所	美里町中央コミュニティセンター 第3会議室
審議会委員	桂 晶子(部会長)、本間 照雄(部会長代理)、黒沼 篤司、吉田 麻美
職員 (美里町総合計画等 策定委員会委員)	健康福祉課長 菊地 知代子、長寿支援課長 渡辺 克也、 子ども家庭課長 櫻井 清禎、南郷病院 事務長 日野 剛
章・政策・施策	(審議結果)
第2章 政策3 施策6	・必要なことは網羅されていると思うが、全体的にわかりにくい文章になっているので、表現等の修正が必要である。 ・②施策の展開、感染症に関する記述で、「必要な支援を行う」より「必要な施策(対策)を講じる」に変えた方がよい。 ・⑤施策の指標の実績値が、国や県と比較してどうであるか、可能であれば記述があると良い。 ・⑤施策の指標について、実現可能な目標値に変更しても良いのではないかな。
施策7	・母子保健の法定健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)以外にも実施し、充実していることを記載した方がよい。
施策8	・大崎・栗原医療圏の回復期、慢性期の病床不足の課題がとなっていることから、医療と介護の連携に関する記載があると良い。
施策9	・③施策の展開に救急医療機関の適切な利用について啓発する、に関連する④施策の主要な取組がないので、記載が必要である。
政策4 施策10	・②施策を取り巻く現状と課題について、「給付費抑制のための介護予防」という記述から「その人がその人らしく地域で暮らし続けることを支えるために介護予防が必要である」というような記述に変更した方がよい。 ・②において、「2025年の予測」と修正されたが、計画の目標とあわせて「2040年の予測」とすべきである。 ・④施策の主要な取組において、啓発活動の実施も含めた認知症及び成年後見制度に関することを記載した方がよい。
施策12	・国の第4次障害者基本計画などを踏まえ、町としてどこに力を入れるのか、明確にわかる書き方がよい。 ・大人の発達障害に関することを可能な範囲で記載があると良いのではないかな。
政策5 施策13	・公立施設の民間移行については、関係部局と連携を図って、質の高い保育を提供できるように検討していただきたい。 ・放課後児童クラブの高学年の受け入れについては、住民ニーズを捉えて実施できるよう進めていただきたい。

施策14	・施策の目的にもある子育てが楽しいと感じる家庭が増えるように、地域で子どもたちを支える流れを作るような政策を実施していただきたい。 ・子育て支援センターの行事開催等の情報のPRを強化していただきたい。
施策15	・①施策の目的の「子ども命を守ります」は、究極的には子どもの命を守ることだが、虐待は子どもの人格形成や心身の成長等に重大な影響を与えることから、虐待防止・早期発見、人権を守る等より具体的表現に修正した方がよい。
基本構想・資料編	・賑わいと活気のあるまちづくりを進めるため、関係人口施策を言葉だけでなく、具体的な施策に結び付けていくような工夫をしていただきたい。

美里町総合計画審議会 産業振興部会
部会審議報告書

開催日時	第1回:令和2年7月9日(木)午後3時から 第2回:令和2年7月16日(木)午後2時から 第3回:令和2年7月30日(木)午後2時30分から 第4回:令和2年8月6日(木) 午後2時から
開催場所	第1～3回:美里町中央コミュニティセンター3階 大ホール 第4回:美里町起業サポートセンター「Kiribi」(オンライン会議)
審議会委員	渡邊 新美(部会長)、大友 慎次(部会長代理)、堀田 宗徳、 葛西 美智子
職員 (美里町総合計画等策 定委員会委員)	産業振興課長 小林 誠樹、農業委員会事務局長 菊地 和則
章・政策・施策	(審議結果)
第3章 政策6 施策16	(1) 基本計画の追加事項等について ・新型コロナウイルス感染症の影響に係る内容について追加を検討するとともに、③施策の展開及び④施策の主要な取組に新型コロナウイルス感染症や災害等の環境変化に対する内容について追加を検討されたい。 ・②施策を取り巻く現状と課題について、担い手確保、支援を分かりやすい表現にする必要があるとともに、地域農業の継承対策や新規就農対策等の内容を追加されたい。 ・②施策を取り巻く現状と課題及び③施策の展開に農商工連携に係る内容について追加されたい。 ・④施策の主要な取組について、「個性をいかした農業の推進」が分かりづらい表現となっているので「北浦梨」などの果樹、野菜等の生産振興を追加されたい。 ・④施策の主要な取組について、もう少し具体的に分かりやすい表現に修正されたい。 (2) 事業検討、事業実施する際の付帯意見 ・美里町でしかつukれない農産物を生産者と一体となって取り組むような事業を実施していただきたい。 ・ふるさと納税を活用した農産物 PR や農業の労働力不足解消に向けたマッチング事業なども検討していただきたい。
施策17	(1) 基本計画の追加事項等について ・⑤施策の指標については、計画として一体的な取組内容であるので繁殖、肥育農家を分けずに畜産農家全体の飼養頭数に修正されたい。
施策18	(1) 基本計画の追加事項等について ・④施策の主要な取組中の「保全活動の支援」及び「生産基盤の維持向上」について表現を変更されたい。

政策7 施策19	(1) 基本計画の追加事項等 ・新型コロナウイルス感染症の影響に係る内容について追加を検討するとともに、③施策の展開及び④施策の主要な取組に新型コロナウイルス感染症や災害等の環境変化に対する内容について追加を検討されたい。 ・商工業を振興するための町の位置づけ、方向性などをもう少し丁寧に整理されたい。 ・もう少し具体的で分かりやすい表現に修正されたい。 ・①施策の目的の「しごと」について、用語集に追加されたい。 (2) 事業検討、事業実施する際の付帯意見 ・商工業を振興する上で、消費者(顧客)視点も考慮し事業実施をしていただきたい。 ・町の施策をPRするとともに商工業者を支援するような取組を検討していただきたい。 ・「新しい生活様式」の定着化に向けた取組について、検討していただきたい。
施策20	(1) 基本計画の追加事項等 ・新型コロナウイルス感染症の影響に係る内容について追加を検討するとともに、③施策の展開及び④施策の主要な取組に新型コロナウイルス感染症や災害等の環境変化に対する内容について追加を検討されたい。 ・③施策の展開における町の特産品について、付加価値創出に必要な6次産業化や農商工連携の取組の追加を検討されたい。 ・③施策の展開について、情報発信、購買手段等が多様化していることから、顧客視点、消費者の動きに応じたツールの活用などの追記を検討されたい。 ・⑤施策の指標における観光客入込数について、設定した指標が減少していることから、再度、検討されたい。 (2) 事業検討、事業実施する際の付帯意見 ・住民主体型催事開催、支援の際に公共性の担保、ターゲットを明確にするよう配慮いただきたい。 ・付加価値創出(商品開発支援)の際に、顧客視点に配慮いただきたい。 ・事業者本人が、SNS等を活用し情報発信できるような仕掛け、仕組みづくりを検討いただきたい。

美里町総合計画審議会 生活環境部会
協議結果記録用紙

開催日時	第1回部会 令和2年7月 9日 午後3時から 第2回部会 令和2年7月21日 午後1時30分から 第3回部会 令和2年7月28日 午前10時から 第4回部会 令和2年8月18日 午後1時30分から
開催場所	美里町中央コミュニティーセンター 第3研修室
出席者(審議会委員)	佐々木 秀之(部会長)、佐々木 文子(副部会長)、横山 健也、 萱場 るみ
職員 (美里町総合計画等策 定委員会委員)	まちづくり推進課長 斎藤 寿、町民生活課長 菊地 卓昭、 防災管財課長 小野 英樹、建設課長 花山 智明、 下水道課長兼水藤事業所長 櫻井 純一郎
章・政策・施策	(審議結果)
第4章 政策8 施策21	・③施策の展開について、関係団体について具体的な団体名(婦人防火クラブ)を記載願う。 ・また、防災に対する地域の共助の考え及び防災情報に係る SNS といった新たな通信手段について記載した方がよい。
施策 22	・死亡事故1000日以上を達成している状況にあり、交通安全の取組について、無理に何かをやるというよりも、地域住民の活動を持続していけるようにすることが大切である。
政策 9 施策 23	・⑤施策の指標について、歩行空間の整備(累計)の目標値が細かく設定されているが、目標値のため、数値をまとめた方がよい。
施策 24	・デマンドタクシーについて、まちづくりとの関連があることから、基本計画に記載しないまでも、住民との情報交換の場をつくっていてもよいのではないかと。
施策25	・環境美化運動について、環境教育とあわせながら、地域住民の負担にならない、持続可能な取組を検討していただきたい。
施策26	・水の安定供給、水道経営の問題とも関係してくるが、水の安定供給のため、着実に取組を進めていただきたい。
施策27	・下水道事業について、年々整備されてきており、特に修正すべき点はないと思うが、本施策に係る取組について、今後のまちづくりに反映していただきたい。
施策 28	・日本全体の人口が減少していく中で、定住・移住については、②施策を取り巻く現状と課題にも記載のあるとおり、雇用、教育、住環境などセットで考えていく必要がある。また、空き家対策などともうまく関連しながら取組を進めていただきたい。
政策 10 施策 29	・住民活動の活性化について、性的少数者、障害者や外国人等の多様性についても配慮されたい。
施策 30	・交流について、町外との関係性を構築していく必要があるが、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえて、オンラインを活用した交流について指標を追加してはどうか。
施策 31	・国際交流について、関係性が途切れてしまわないよう交流イベント等

	の継続展開が必要である。施策30と同様に、オンラインを活用した交流について指標を追加してはどうか。
政策11 施策32	・特に修正すべき点はないが、⑤施策の指標について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえると、国際交流事業への参加者数は難しいか。

美里町総合計画審議会 総務行政部会部会
部会審議報告書

開催日時	第1回部会:令和2年7月9日(木)午後3時から 第2回部会:令和2年7月27日(月)午後3時から 第3回部会:令和2年8月11日(火)午後1時30分から 第4回部会:令和2年8月24日(月)午後1時30分から
開催場所	美里町役場 本庁舎3階 会議室
出席者(審議会委員)	徳永 幸之(部会長)、松田 攻治(部会長代理)、柴田 修、森 芳四郎
職員 (美里町総合計画等 策定委員会委員)	総務課長 佐々木 義則、企画財政課長 佐野 仁、 税務課長 寒河江 克哉、徴収対策課長 菅井 清、 会計課長 佐々木 信幸
章・政策・施策	(審議結果)
第5章 政策12 施策33	・①施策の目的について、「最少の経費」が必ずしも良いということではなく、効率性を上げていくが重要である。記載内容について、少し字句の修正をお願いしたい。 ・②施策を取り巻く現状と課題に業務量の増加とあるが、人員の増加が難しい中で、業務の効率化、見直しを行っていくためには、非効率業務の抜本的な見直しが必要ではないか。 ・民営化の検討のように、突然④施策の主要な取組に記載されているものもあり、しっかり③施策の展開と④施策の主要な取組について、整合性をとっていく必要がある。 ・⑤施策の指標について、その目標数字だけが独り歩きしてしまいがちであるが、本来、何をするための目標であるかを十分に注意する必要がある。 ・⑤施策の指標の広報広聴アンケート調査の住民満足度について、評価段階の中で3.0を取るのは大変なことであると思われる。目標値について再度、見直した方がよいのではないか。 ・他部会から意見をいただいているが、情報発信について、住民側の視点も取り入れながら情報発信手段の見直しを検討していく必要があることから、町の情報発信の項目について、一部修正を加えること。
施策34	・②施策を取り巻く現状と課題について、プライマリーバランスがマイナスになるとあるが、黒字なのか赤字なのか分かりづらいため、分かりやすい表現に修正願う。 ・②施策を取り巻く現状と課題について、合併特例債について記載があるが、その趣旨を考慮すると、合併特例債の発行可能額を理由に実質的な自治体負担の増加とする表現は見直した方がよいのではないか。 ・②施策を取り巻く現状と課題について、新規課税等と記載があるが、増税的なイメージで勘違いされてしまうため、書き方を工夫した方がよい。 ・財政健全化計画について、④施策の主要な取組で急に記載が出てくるが、健全化について、前段で記載が必要ではないか。 ・②施策を取り巻く現状と課題及び③施策の展開において、自主財源確

	保等に係るふるさと納税の取組について記載願う。 ・⑤施策の指標に公共建築物の複合化した施設数とあるが、公共施設等総合管理計画において延べ床面積で管理しているものを、本施策で施設数を指標に設定するのは違和感がある。そもそも複合化は計画的に見えているものではないのか。
--	--